

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	財政情報公開事業	所管	財務部 財政課
			TEL 2998-9030

事業の目的 (何の為に 行うか)	①市民に対し、市税の使いみちや財政状況を公表することで、説明責任を果たす。 ②職員が、市民に対し財政状況を説明できるようにする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全市民・全職員	対象とした数	342,875	人
		実際に 利用した数	342,875	人

活動の内容	(何を したか)	①予算・決算の告示、広報やHPによる予算概要の公表 ②広報により財政事情の公表(上半期・決算) ③財務諸表(バランスシート・行政コスト計算書)作成及び公表 ④財政のポイントをまとめた「財政のツボ」の作成及び公表 ⑤職員向けに財政広報紙「ざいせいトークス」発行 ⑥出前講座による財政情報の説明								
		活動実績	項目名	ホームページに掲載するコンテンツ数	11	単位	項目名	庁内広報紙発行回数	1	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	10	10	2,265	6.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	情報提供件数	年間冊子配布数及びホームページの各ページへのアクセス件数	3700	3755	101.5
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	020100	TEL	2998-9030
事業コード	020105	財政情報公開事業	財務部	財政課		
開始年度	昭和 9394 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	財政担当グループ			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針					地方自治法、所沢市財政事情の作成及び公表に関する条例			
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	4節 財政運営	中柱	4 財務の透明性の確保	小柱	(1)わかりやすい財務情報の公開
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 5 位			・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/> H20 <input type="radio"/>
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		1121		分かりやすい行政情報の提供		コード			
事業開始の背景		地方自治法の規定により、予算及び決算は議決後にその要領を住民に公表しなければならない。また、条例の定めるところにより、毎年二回、歳入歳出予算の執行状況並びに財産、地方債及び一時借入金の現在高その他財政に関する事項を住民に公表しなければならない。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的)												
	①市民に対し、市税の使いみちや財政状況を公表することで、説明責任を果たす。 ②職員が、市民に対し財政状況を説明できるようにする。												
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方							
	全市民・全職員					財政情報を取得できる人							
対象数		単位		平成 18 年度	341,754	人	利用数		単位		平成 18 年度	341,754	人
				平成 19 年度	342,875	人					平成 19 年度	342,875	人
事業の具体的な内容及び実施方法													
①予算・決算の告示、広報やHPIによる予算概要の公表 ②広報により財政事情の公表(上半期・決算) ③財務諸表(バランスシート・行政コスト計算書)作成及び公表 ④財政のポイントをまとめた「財政のツボ」の作成及び公表 ⑤職員向けに財政広報紙「さいせいトークス」発行 ⑥出前講座による財政情報の説明													

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])							
			<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)							
	予算		<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
平成19年度中に改善した点										
財務諸表において普通会計の他に特別会計・事業会計を併せた、市全体のバランスシート・行政コスト計算書を作成した。										

⑤経費	《会計種別》		一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			1	10	10
	決 算 (見込み含む)			1	10	
	(嘱託職員) (臨時職員)		(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費		0.20 人	1,840	0.24 人	2,255
	公債費					
	事業費合計		1,841	2,265		
	財源内訳		一般財源	1,841	2,265	10
			国・県支出金			
			受益者負担金			
		市債				
		その他				
市民一人当たり(単位:円)			5.4	6.7		
利用数一単位あたり(単位:円)			5.4	6.6		

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	ホームページに掲載するコンテンツ数	年間の新規掲載コンテンツ数		11	11	11	
		庁内広報紙発行回数	年間発行数		1	1	1	
	成果分析	情報提供件数	年間冊子配布数及びホームページの各ページへのアクセス件数		目標値 3500	実績 3755	3800	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1
				%	達成率 103.8	101.5		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	市民や職員に財政状況について、的確に判断してもらうためには、市の財政情報をわかりやすくまとめ、積極的に情報を発信していくことが重要であるが、この「わかりやすく」の捉え方についてが課題である。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	財政トークスの発行	職員が市の財政に関心を持てるように検討し、年2回の発行を目標とする。		3月末
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
実績値は、年々、市民の財政情報への関心が増加していることを示している。そうした状況の中、多くの職員が市民に市の財政情報について的確に説明ができるよう、研修や情報の提供、さらに職場・事業単位で財政研究等ができる仕組みづくり向け改善してゆく。					
評価日		記入者職氏名 財政担当 稲谷 不二夫			

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード
	施策の体系				施策の方向
	◎次世代育成支援行動計画				
	基本目標	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
主要課題					
施策の方向					